



文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)
「JAPAN LIVE YELL project」

2022

『“輝け!ながさきのアーティストたち”～オーケストラといっしょに～』コンサート

観客向け・共演者向けアンケートの 分析及び集計 報告書



企画趣旨・概要

昨年度に引き続き、コロナ禍で活動が沈滞化した長崎県内の演奏活動を活性化するために、九州初の日本オーケストラ連盟準会員で県内唯一のプロ・オーケストラである長崎OMURA室内合奏団(NOCE)が核となり、ジュニアオーケストラ、ピアニスト、ゴスペルグループなどの県内外の文化芸術団体・演奏家と共に演し、3市3会場においてコラボコンサートをおこない、幅広い世代の観客層にクラシック、ポップスの馴染みのある名曲で心の癒しのひとときを提供します。

また、プロ・オーケストラが持つ幅広い音楽性や表現力の豊かさを多くの県民と共に演者に体験してもらい、地域に根差した活動から伝わる様々な反響や効果が、これから活動に大きく寄与していくことに繋げていきます。

長崎OMURA室内合奏団 (NOCE) の紹介



大村市を拠点とする長崎県唯一のプロ室内合奏団。県内を中心に幅広い演奏活動を展開し、地域や学校など積極的にアウトリーチコンサートもおこなっている。毎年5月・12月に大村市・長崎市で定期演奏会を開催。令和4年から佐世保市でも開催している。令和元年に日本オーケストラ連盟準会員となる。令和5年には結成20周年を迎える。

共演団体の紹介

▶ ジュニアオーケストラながさき



2005年、長崎市近郊のヴァイオリン・チェロ奏者によって設立された、長崎県南部で活動するジュニアオーケストラ。毎年定期演奏会を開催し、ながさき音楽祭、長崎歴史文化博物館のれきぶんミュージアムコンサート、長崎ブリックホールのラウンジコンサート、長崎市民音楽祭などに出演している。弦楽器を学ぶ子どもたちにオーケストラを体験できる機会を提供し、オランダライデン市での公演を通じ子どもたちによる国際交流も実現させたことにより、2021年長崎県地域文化賞を受賞している。



指揮

松原 勝也 (まつばら かつや)

- ・東京藝術大学音楽学部教授
- ・長崎OMURA室内合奏団アーティスティック・アドバイザー



► ピアノコンチェルト



本山 乃弘
(もとやま のりひろ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校および同大学卒。パリ・エコール・ノルマル音楽院コンサーティスト高等課程終了。東京音楽コンクール第3位など受賞を重ねる。国内外にて多くのオーケストラと共に演奏し、日本各地にてリサイタルや音楽祭などへ定期的に出演している。元東京藝術大学音楽学部非常勤講師。



本山 あきな
(もとやま あきな)

桐朋学園大学音楽学部および同大学研究科卒。南カリフォルニア大学音楽学部を最優秀で修了し、キーボード・アンサンブル・アワードの受賞とともに修士号を取得。現在ロサンゼルスを拠点に全米各地にてソロ、室内楽の演奏活動に励む傍ら、ピアノにとどまりず後進の様々な楽器奏者の指導もおこなっている。



**指揮
古谷 誠一 (こたに せいいち)**
・名古屋芸術大学名誉教授
・セントラル愛知交響楽団正指揮者



▶ ゴスペル・クワイア GLORY



2003年、南島原市に誕生したゴスペルグループ。メンバーは主に南島原市在住で年齢・職業は多種多様。2019年までの島原半島を中心に160回以上のライブを開催している。世界文化遺産の原城跡での「原城一揆まつり」には2009年から11年連続で出演している。

▶ 賛美ユニット ルア・ワーシップ



3人姉妹の賛美ユニット。3人姉妹は日本で生まれインターナショナルな環境で育つ。国際的な影響を受けてきたルア・ワーシップは、アカペラのアレンジ曲を始めとして、教会での礼拝音楽にも力を注いでいる。



指揮
村上 寿昭 (むらかみ としあき)
・東京藝術大学講師
・桐朋学園大学音楽学部講師



各コンサート会場アンケートの分析

(来場者・共演者・関係者)

令和4年9月1日(木)・長崎ブリックホール 大ホール

指揮/松原勝也・共演/ジュニアオーケストラながさき

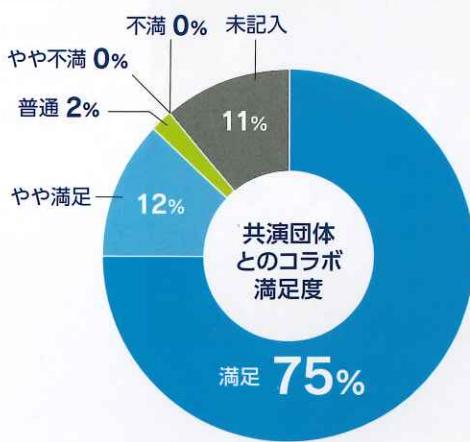
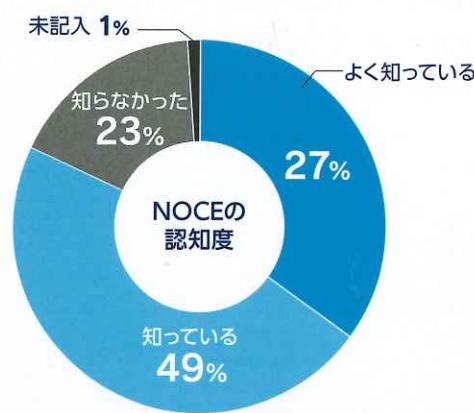
若い感性のジュニアオーケストラとプロオーケストラが共演しました。



● 来場者 308名

● アンケート回答135名
(男性34名 女性96名 未記入5名)

● 年齢 10代…17%
20代…5%
30代…5%
40代…18%
50代…19%
60代…19%
70代…13%
80代以上…2%
未記入…1%



● 来場者

来場者（観客）のNOCE認知度は82%。ジュニアオーケストラとのコラボコンサートの満足度は87%。まず音色の美しさを感想に挙げる人が多かった。ジュニアオーケストラながさきとのコラボで、「県内唯一のプロ合奏団」というイメージに、「若い人を育て、オープンで、親しみを感じるプロ合奏団」というイメージが加わった。NOCEのイメージを「地域」や「地元」の言葉で表現する人が多く、地域に根ざし貢献するレベルの高いプロオーケストラのイメージが確実に定着してきている。

● 共演者（ジュニアオーケストラながさき）

共演者のアンケートでは、NOCEのイメージを「プロの合奏団」のほかに「明るく、仲が良く、優しい合奏団」というイメージが加わっている。NOCEとの共演や指導を通して「自由に楽しく演奏することを知ったとの感想が複数あった。

令和4年10月7日金・アルカスSASEBO 大ホール

指揮/古谷誠一・共演/本山乃弘・本山あきな

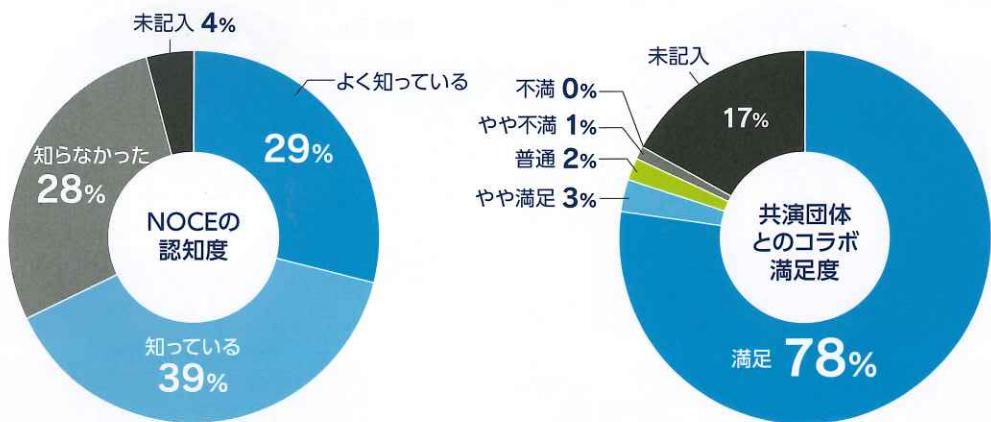
長崎県佐世保市出身の国内外で活躍する兄妹ピアニストと熱く共演しました。



●来場者 401名

●アンケート回答179名
(男性51名 女性116名 未記入12名)

●年齢 10代…13%
20代…3%
30代…5%
40代…9%
50代…25%
60代…40%
70代…15%
80代以上…4%
未記入…2%



●来場者

来場者（観客）のNOCE認知度は68%。本山乃弘・本山あきなどのコラボコンサートの満足度は81%。今回の企画と兄妹ピアニストの弾くピアノコンチェルトに満足の声が多くかった。とくにシューマンの新たな魅力を発見した人という感想が目立った。NOCEのイメージも「地元で活躍しているプロ合奏

団」というイメージが定着し、演奏には「期待以上」という評価を得た。チケット価格がリーズナブルという声も複数あった。また、地域の子どもたちに演奏を聴く機会をもっとつくってほしいとの要望も多かった。

令和4年10月23日(日)・ありえコレジヨホール

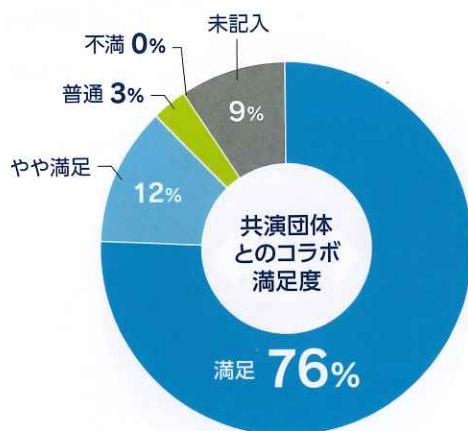
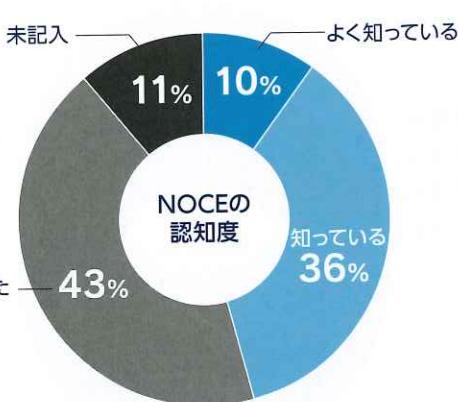
指揮/村上寿昭・共演/ゴスペル・クワイヤGLORY 賛美ユニット ルア・ワーシップ

南島原市で活動するゴスペルグループとインターナショナルな賛美ユニットと魂の共演をしました。



- 来場者 390名
- アンケート回答258名
(男性61名 女性186名 未記入11名)

- 年齢 10代…5%
20代…3%
30代…3%
40代…7%
50代…17%
60代…34%
70代…24%
80代以上…6%
未記入…2%



● 来場者

来場者(観客)のNOCE認知度は46%。ゴスペルグループ&ユニットとのコラボコンサートの満足度は88%。来場者の81%が50代以上だった。南島原市近隣では他所に比べてNOCEの知名度はまだ低く、高齢者層の来場が一番多かった。「合奏団の生演奏やゴスペルはなかなか聴く機会がないので良かった」、「身近な曲に親近感がわいた」、「年に一度でいいから南島原市で演奏会を開いてほしい」などの声が複数あった。

● 共演者 (ゴスペル・クワイヤGLORY)

今回NOCEと共に演奏して、「とても貴重な体験だった」、「NOCEの演奏に包まれ歌いながら感動した」、「夢のような幸福感に包まれた」などの声が複数あった。また、最初は不安だったが、指揮の村上寿昭氏や村嶋寿深子NOCE芸術監督の的確で熱心な指導で、新たな発見や学びがあった、素晴らしい体験になった、という声も複数あった。

昨年に引き続きコロナ禍における コラボコンサート開催の意義と評価について



ジュニアオーケストラながさき

団長 志岐 光昭

芸術監督の村嶋寿深子氏より声をかけていただき、長崎OMURA室内合奏団(NOCE)との共演が実現しました。子どもたちはとても楽しみにしており、練習にも熱が入りました。曲目は、今年の定期演奏会で演奏する予定のセントポール組曲(ホルスト作曲)と去年の定期演奏会で演奏した交響曲第36番ハ長調「リンツ」(モーツアルト作曲)を選びました。

練習の開始時に、指揮者の松原勝也氏から「私もアンサンブルの一員です。一緒に音楽を作りていきましょう。」という趣旨の言葉をいただいて、子どもたちは意欲満々で練習に臨みました。NOCEにはヴァイオリン、チェロの講師として子どもたちを指導していただいている先生方もおられますし、あこがれのプロの演奏家とすぐ横で演奏できるのはすばらしい経験になったと思います。松原氏は練習の途中に音楽表現について子どもたち一人一人に質問をして、感想や意見などを引き出そうとされていました。これにより、音楽の主体的な表現が一層

強まったように感じました。音楽表現について深く考える示唆もいただきました。音楽表現はどんどんまとまっていき、本番はすごく熱のこもった演奏になりました。子どもたちのハイテンションな喜びが演奏に表れており、かけがえのない時間になったと思います。保護者も感激と感謝の気持ちでいっぱいのようでした。

休憩の後は、交響曲第3番「英雄」(ベートーベン作曲)を子どもたちと保護者も一緒に鑑賞させていただきました。松原氏がコンサートマスターの席でヴァイオリンを弾かれると安定した大人のオーケストラの音楽が流れ、音楽的表現の深い演奏を子どもたちは一層身近に聴いて得難いものを感じたと思います。

課題としては、集客がもっとできればと思いました。もっと多くの方々に聞いていただきたかったです。





元東京藝術大学音楽学部非常勤講師

ピアニスト 本山 乃弘

私は長崎県に生まれ育ち、現在は関東に拠点を置く身です。コロナ禍以前には、地元佐世保に於いても月に一回のレッスンや、年に一、二回の自主開催コンサートを個人としても開催しておりましたが、コロナ禍の中、物理的に帰省すること自体困難な状況が長く続いておりました。徐々に世間で芸術文化活動が再開されるようになってからも、感染拡大の波と動向が全く読めない中、受託演奏・自主開催共に、イベントが計画されては延期・中止される事態が繰り返されておりました。

感染対策のノウハウや備え、会場でお手伝いいただくスタッフの皆様やお客様の安全への責任など、個人運営では困難な課題が多くあり、プロフェッショナルな組織のバックアップや経済的基盤なしには、イベント開催が難しい状況でした。

そうした中、今回いただいた長崎OMURA室内合奏団さんとの共演が、コロナ禍以降初めて実現の叶った九州での演奏機会になりました。地元の皆様に広く愛される団員の皆様と、長崎ゆかりの一人として共演させていただいた事への有り難さはもとより、この情勢にあってはより、練習場所、会場、スケジュール、感染状況など多くの条件がクリアされなければ叶わないのでしたので、大変幸運に思いました。

この機会を通じて多くの人をつないでいただき、コロナ禍以降のリモートレッスンやライブ配信などでは実現できなかった、マイクを通さずに同じ空間の空気の振動を通して表現し共有することや、一緒に息を合わせることといった、クラシック音楽の最も大切な意義を、地元の皆様と共有できたこと、その大きな一步となる機会をいただいた事に、格別の喜びと感謝の念が尽きません。



ピアニスト 本山 あきな

長崎OMURA室内合奏団の皆様、そして長年にわたり佐世保の音楽界に寄与してこられた古谷誠一先生の指揮で、兄妹揃って地元でコンチェルトを演奏させて頂く機会を頂き、特別で有意義な経験をさせて頂きました。

今回初めて共演させて頂きましたが、奏者の皆様はもちろん、舞台裏で支えて下さる方々も一丸となって、“良い音楽を、いい時間を創り上げよう”という意欲をひしひしと感じました。地元長崎でご活躍のプロの音楽家の皆様と共に、このような形で“Japan LIVE Yell Project”に参加させて頂いたことは、海外に身を置く私自身にとって、とても光栄なことであり、皆様の真摯で温かみのある音と、地元の温かい観客の皆様に大いに励されました。

この数年のコロナ禍の下で、誰もが人とのつながりを制限され、その“制約”の中で新しいつながり方を模索しています。

“つながる”意味は日々進化しますが、やはり、ライブでの音楽・舞台に立つ演者と観客が、隔てなしに音楽をからだ全身で感じて“つながる”感覚は、制限してきた数年を経た今だからこそ、一層強く感じられたのではないでしょうか。

音楽は、人とのつながりの中に存在するものであって、人が居ない所には存在できません。大村に本拠地を置く長崎OMURA室内合奏団の皆様と、佐世保で育った私達兄妹で共演させて頂いたことで、改めて“長崎人”としての誇りを感じると共に、地域に根差した音楽活動は、音楽の真の理想に適うものであると気付かされました。

長崎OMURA室内合奏団のこのような建設的な取り組みが、地域の未来を創り、地域の彩りとなっていくことを祈念いたします。



ゴスペル・クワイアGLORY

代表 磯野 潔

最初にNOCEからお声がかかったのは昨年の12月でした。このコロナ禍でGLORYは約3年間ライブから遠ざかっていた事もあり、オーケストラとゴスペルとのコラボに不安もありましたが、思い切ってお受けしました。

今回、フルオーケストラの伴奏で3曲のゴスペルを歌いました。その内「アーメジング・グレース」とGLORYのディレクターが作った「あのときも今日もとこしえに」の2曲は歌える気がしていましたが、交響曲第九番をゴスペル調にアレンジしたアップテンポのJoyful Joyfulはどうしてもイメージできなかったのです。そこでオーケストラ用の楽譜から音源を作り、公演1ヶ月程前からこのカラオケを使って練習を重ねてきました。

この音源では通常と異なりビートが前面に出ていなかっため、タイミングを合わせづらく戸惑いました。しかも、NOCEとの直接の手合わせは本番前日のリハと当日のゲネプロの2回しかなく焦りました。しかし本番でこの演奏が終わった瞬間、聴衆から一斉に歓声と拍手が湧き起こり、この画期的な試みが見事に成功したと肌で感じました。今までの中で最もチャレンジングなステージだったと思います。

今回、大変貴重な体験をさせて頂いたNOCEにはとても感謝しています。本当に有難うございました。



ゴスペル・クワイアGLORY

ディレクター 中村 百合子

今も感動が続いています。なんと素敵な出会いをいただいたのでしょう。

私は幼い頃から歌や音楽が好きで、20年前にゴスペルに出会いました。オーケストラでゴスペルを歌うことは、実はひそかな夢でした。

共演曲の一つ「あのときも今日もとこしえに」は、1637年に南島原市の原城跡で起きた島原の乱に思い馳せ、この地に住む人々がどんな思いで命を捧げ、祈りを捧げ、そして神は私達に何を伝えておられるのか…、そのような祈りから2011年に与えられた歌で、澄み渡る弦の音、力強い太鼓やラッパの音などと共に私の中に鳴り響いていました。それがこの度、NOCEとの出会いによって現実に奏でられることになり、ビックリ仰天！神さまからの11年越しのプレゼントに感動で胸がいっぱいになりました。この歌の思いと響きをくみとて、真心こめて編曲してくださった日高哲英さんに心から感謝します。初めてNOCEによる演奏を聴いた時はメ

ンバー共々胸が震え、涙が溢れました。「変わらずこの地上に、あなたに、目を留めて祝福を注ぎたもう」、歌詞のとおり神が語ってくださっているようでした。そしてこの音に言葉が乗った時、優しく力強く、どこまでも届いていくように感じました。

GLORYという小さな群れの、楽を奏する達人NOCEと贊美の達人ルア・ワーシップとの共演は大きなチャレンジで、この数年のコロナ感染予防で活動休止していた分を取り戻すかのように精一杯備えました。指揮者の村上寿昭さんやNOCEの皆様のお力添えにより声高らかに歌うことができ、感謝しかありません。満員のお客様の鳴りやまない拍手、温かな涙と笑顔、みんなが喜びを感じていました。音楽、言葉を共に届ける機会を、そしてこの出会いを、本当にありがとうございました。

全体的なアンケート検証結果

昨年以来、同企画で取り組んでいる「長崎県内のNOCEの知名度とイメージ向上」について。昨年に比べて「県内唯一の実力あるプロ合奏団」というイメージは確実に定着している。それに、県内各地のさまざまな文化芸術団体との共演を通して、地域の芸術文化向上に貢献する、親しみのある地域型密着のオーケストラというイメージが加わってきた。これは同企画を継続してきた大きな成果だと思われる。さらに、コラボコンサートを支える各指揮者の存在も大きいことが分かった。



佐世保定期演奏会

また、昨年も今年も「もっと地域の子どもたちに演奏を聴かせほしい」、「もっと県内各地で演奏会を開いてほしい」との訴えが多くあった。この点は、佐世保定期演奏会の新たな実施や、現在実施中のアウトリーチ・スクールコンサートの強化につながっている。

長崎市と佐世保市では、コロナ禍ではあったが、昨年を上回る観客動員ができたことは評価できる。



スクールコンサートイメージイラスト

今回の評価



長崎OMURA室内合奏団

芸術監督 村嶋 寿深子

今回のアートキャラバンは、長崎では、「ジュニアオーケストラながさき」との共演、佐世保ではご当地出身の本山兄妹ピアニストとの共演、島原では2つのゴスペルグループとの共演というユニークなものでした。

ジュニアオケに関しては、NOCE団員が指導者に入っていることもあり、また、松原勝也氏の指揮や弾き振りであったこともあり素晴らしいコンサートに仕上がりましたが、観客が少なかったことは残念です。

兄妹のピアニストは、それぞれの特性を生かした聴きごたえのある素晴らしい演奏でした。国内外で活躍しているアーティスト達との共演は、NOCEとしても感動的でした。

ゴスペルグループに関しては、現地で活躍しているグループと中央で活躍しているグループとの共演でしたが、島原の指導者中村百合子さん作詞・作曲の作品をアンコールで行い、観客のみならず出演者全員で感動を体感しました。

日頃出来ないこのようなコンサートが出来たことはありがたく、出来れば今後も継続して行いたいものです。

来場者&共演者・関係者アンケート集(抜粋)

◎ジュニアオーケストラながさき共演

来場者(観客)

▶これまでNOCEはどんなイメージだったか

- 演奏の技術があつてとても美しい音楽を奏でる楽団。
- 長崎で唯一のオーケストラ。
- 地域に根差した音楽活動をしている。
- 地方の楽団なのに活発に活動している、地域に貢献している。
- 長崎がゆかりのプロの人で結成されている。地元の人なので親しみがわく。
- 長崎県内で質の高い演奏を聞かせて下さるオケ。
- 地元に根付いたあたたかい活動をしている
- 長崎に密着し、県内の小中学校へも出かけて活動している、とても親しみやすい。
- 地域貢献を目指す音楽集団。

▶共演団体とNOCEのコラボコンサートの感想

- 音色がきれいでした。中3のソロ素晴らしかった。(60代女性)
- ジュニアとは思えないほど上手で、上手く調和していたと思います。(50代女性)
- 若い感性とそれに負けない、深みがあり澄んだ音色のハーモニーが素晴らしかった。(50代女性)
- ピアノがないのにとても大きい音を出していて、賑やかな感じがしました。聴いているだけでとても楽しい気持ちになりました。(10代女性)
- 心穏やかな気分になりました。(50代女性)
- 中学生コンミスの素晴らしい演奏が今後生きるだろうし、NOCEへの還元につながるはず。(40代女性)
- とても美しく感動しました。私は特にコントラバスなどの深みのある音が好きでした。(10代女性)
- 弦楽の音の広がりや膨らみが伝わってきました。(60代男性)
- 子どもにとっては、めったにない機会であり、ますます音楽が好きになるきっかけになると思う。落ち着きと若さ溢れる演奏でした。(50代男性)
- まるで音源を聴いているような透き通った音でとても素敵でした。(10代女性)
- 気が付くと40分も時間がたっており、演奏に引き込まれた。(40代女性)
- スタートで音のざわつきを感じました。モーツァルトの最終曲は楽しく聴くことができた。指揮者の動きがユニークで指の動きなど楽しかった。(70代女性)
- 子どもたちの演奏が思ったより美しくて驚いた。久しぶりに生の演奏を聴きました。また演奏会を聴きに行こうと思いました。(20代女性)

▶これまでとNOCEのイメージが変わった点

- 演奏者みんな、すごく上手で素晴らしい演奏をする団体(10代女性)
- 素敵な演奏をする団体だなと思った。(20代女性)
- 身近に感じた。(70代女性)
- NOCEという略称を初めて知った。(20代男性)
- 普段東京に住んでいますが、地方の楽団でもレベルが高く楽しかった。(20代女性)
- 若い人を育てていることに感動しました。(60代女性)
- とても本格的な演奏で素晴らしいです。(40代女性、今回初めて)
- お客様との距離が近いというか、親しみを感じました。(50代)
- さらにイメージが良くなかった。(70代女性)
- オープンなイメージが強くなりました。(50代男性)
- やはり、気軽にクラシックを聴ける点が良いと思っています。(60代男性)
- 初めてコンサートに来させていただきました。大きな合奏団ではないイメージでしたが、演奏には迫力がありました。また聴きたいです。(40代女性)
- パトロネージュ通信を見て、ポップスコンサートがあることを知りました。馴染みのある曲を聞きたいです。(50代女性)

▶今後のNOCEに期待すること

- 年4回くらい聴きたい。(70代女性)
- もっと様々な場所で演奏を楽しませて頂きたい。期待しています。(60代男性)
- 常に新たなテーマにチャレンジすることを期待しています。(60代男性)
- こうした大きな会場でどんどんコンサートされてくださいね。(40代女性)
- 地域に密着した演奏会、一般的な曲とマイナーな曲を取り混ぜて演奏して欲しい。(50代男性)
- 音楽の楽しさ、美しさを、これからも伝えてください。(50代)
- 県内の色々な小さなホールにも来てほしい。小さな子どもと楽しめる演奏会。(40代女性)
- いつかは第九を合唱とコラボして演奏して欲しい。(60代女性)
- 今回のような地元の演奏家との共演や、世界的な名演奏家との共演も期待しています。(50代女性)
- 小中高を周って演奏をして沢山の子どもたちに生の音楽を聴かせてほしい。(30代女性、長与)

- 子どもたちも大切に育ててほしいですが、大人のアマチュアも一緒に楽しんだり学んだりする活動があったら嬉しいです。(50代女性)

- 九州を代表する楽団になってほしい。(50代男性)
- こういう、地元で育成する企画を沢山してほしい。(40代女性)
- 学生コンクール入賞者をソリストに迎えた活動を、長崎の子でしてほしい。(40代女性)
- 今日は宣伝が少なかったのか、せっかくのブリックで観客が少なかったのが残念でした。コロナも少し落ち着き、今後の長崎の根付いた活動(小さなホール)など期待します。(60代女性)
- 長崎県内いろんなところを周って、音楽に興味を持つ人が増えたらいいなと思うので、素人からプロ並みの方まで楽しめるような色々な形態で活動していただきたいです。(50代女性)

共演者・関係者

▶これまでNOCEにどんなイメージを持っていたか

- 音楽のプロ!というイメージの方が沢山集まつた集団。
- 県外にも行っている。
- 長崎で有名なので、プロの上手い人たちだと思っていた。
- 楽器が上手な人の集団で、定期的に演奏会をしている。
- 年齢の差を感じないほど、みんな仲が良い。
- 全体的に明るいイメージ。
- 学校など様々な場所で活動する。
- 音が柔らかくて楽しそうなイメージ。
- 優しくていろんな楽器を弾いている。
- それぞれが、したい演奏を活かしながら弾いているイメージ。
- ミュージックキャンプなど様々な取り組みをしている。
- 毎年楽しいミュージックキャンプをして下さっている、とても優しい団員の方々やスタッフの方がいる団体。

▶コラボのハーモニー、音色はどうだったか

- 今まで少ない人数で練習していたけど、大勢で練習すると迫力が全然違った。
- 共演することができ、隣から聴こえる音が綺麗だったので良い経験になった。
- 皆さんとても接しやすく弾きやすかった。
- 皆さん優しくて弾きやすかった。
- 一緒に弾いていて踊りたくなるようでした。

▶これまでとNOCEのイメージが変わった点、(貴団体に)影響を及ぼした点

- 優しく楽しい雰囲気で演奏する事が出来た。
- 初めての共演で緊張したけど、皆さんとても接しやすく弾きやすく、ヴァイオリンがもっと好きになった。
- 楽器を演奏する際に、自由に楽しく弾くことを知った。
- 音楽は楽しむことだということが知れた。
- 団員の方々の優しいところが沢山ありました。
- アンサンブルがとても楽しいことを改めて感じました。

▶今後のNOCEに期待・希望すること

- また共演したいし、演奏会にも行きたいです。
- これからも、沢山の地域で美しい音色を、沢山の人に届けてください。そしてコロナが落ち着いたら、県外でもコンサートを開催してください。頑張ってください。

◎本山乃弘・本山あきな共演

来場者(観客)

▶これまでNOCEはどんなイメージだったか

- 長崎随一のプロの合奏団として応援したい。(70代男性)
- ローカルで発展している。(70代男性)
- 地方の合奏団ではあるが、積極的に活動している。(50代男性)
- 合奏団は知っていたが、聴いたことはなかった。(50代女性)
- 県内唯一のプロのクラシック集団。(60代男性)
- 身近な合奏団で、地元で頑張っている。(70代女性)
- 長崎にプロのオーケストラがあるんだ、と思った。(50代女性)
- 真摯に取り組んでいて、安心して聴ける。(50代男性)
- プロの合奏団として、長崎の音楽をリードしている。(40代男性)
- 音楽を生涯の友として深く愛する方々。(30代女性)
- 長崎県初のプロオケとして、大村の誇り。(70代女性)
- ハーモニーがきれいで、強弱がわかりやすく弾くイメージ。(10代女性)
- 選曲がおもしろく、とても聴きやすい。(40代女性)

- ・素晴らしい合奏団。(70代女性)
- ・明るく、和やか。(60代女性)
- ・地元で本物の音楽を提供してくれる方々。(40代女性)
- ・長崎のクラシックを牽引してくれる頼れるオーケストラ。(30代女性)
- ・小規模ながら頑張っている。(50代女性)
- ・優しくていい方ばかり、みんな仲良しに見える。(50代女性)
- ・地域に貢献している合奏団。(40代女性)
- ・長崎のプロのオーケストラ。とても誇りに思う。(50代女性)
- ・レベルが高く、地元を大切にしている合奏団。(60代男性)
- ・ユーモアのある方が多い。(10代女性)
- ・学校にも来てくれた。地元で生の演奏を聴く機会を作ってくれている。(50代女性)
- ・また聴きたいと思っていた。木管が心地よかった憶えがある。(20代男性)
- ・コンパクトながらも粒のそろった美しい音色を奏でる合奏団。(50代女性)

▶共演団体とNOCEのコラボコンサートの感想

- ・小編成だったが、弦楽器とピアノのハーモニーが良かった。(70代男性)
- ・ピアノコンチェルトが生オーケストラで聴けて良かった。(50代女性)
- ・素敵なコンチェルトだった。2曲も聴けて嬉しかった。(30代女性)
- ・繊細かつ大胆な演奏でもて素晴らしい。(70代男性)
- ・一音一音に心がこもっていて、ぬくもりを感じた。(10代女性)
- ・医療従事者だが、心の栄養、幸せな気持ちになった。明日からまた仕事を頑張ろうという気持ちになった。(50代女性)
- ・兄妹も真面目に真剣に取り組んでいて、合奏団にマッチしていた。(70代男性)
- ・圧倒され言葉も出なかった。(70代男性)
- ・モーツアルト、特に三楽章の頭がいつも聴いているCDとは違っていて驚いた。(50代男性)
- ・室内オケなのでモーツアルトは丁度良いと思ったが、シューマンでもフルオケのように力強い響きだった。(50代男性)
- ・癒された。やはり生の演奏は良い！(40代男性)
- ・ただただ心に染みた。(70代女性)
- ・弦楽器が主体の中で、ピアノの演奏が映えて聴こえて綺麗だった。(20代女性)
- ・ピアノもオーケストラも音色が大変美しかった。(60代女性)
- ・弦が素晴らしい。次の定演にも伺いたい。(60代女性)
- ・オーボエ、ファゴットの音色が良かった。(60代女性)
- ・安定した古谷先生の指揮のもと、素晴らしい演奏を聴かせてもらった。(60代女性)
- ・モーツアルトは円を描きながらスケートをしている様だった。シューマンは秘めた想いとその表出の対比が良かった。(60代女性)
- ・ダイナミックで深い音色で素晴らしい。(50代女性)
- ・ピアノの音色とバイオリンなどの音が重なっていてとてもよかったです。(10代女性)
- ・音のバランスがとても良い。曲の世界に引き込まれた。(40代男性)
- ・名曲を満喫した。大好きな曲ばかりだった。(60代女性)
- ・プレー！素晴らしい以外の言葉が浮かばない。最高の夜になった。(50代男性)
- ・コロナ禍を乗り越えて演奏する喜び、聴ける喜びに満ちたコンサートだった。(50代女性)
- ・音色が同じで縦も揃っている、鳥肌が立つ演奏と、それにとても合うピアノが新たな世界を見せてくれた。(10代女性)
- ・モーツアルトは、きらきらして可愛らしい感じがした。シューマンはかっこよかった。(30代女性)
- ・モーツアルトの思ひぬところの弱音の活かし方が良かった。C-dur, A-mollという組み合わせも良かった。とっても大好きなコンチェルト。(60代男性)
- ・迫力のある演奏、繊細な演奏、様々な場面でピアノと合ってて素晴らしい音色だった。(10代女性)
- ・兄妹それぞれすばらしい演奏で、オーケストラとの調和が良かった。(50代女性)
- ・特にシューマンの和声感と緻密なアンサンブルに度肝を抜かれた。(20代男性)
- ・モーツアルト、バックの素晴らしい演奏に支えられて、ピアノがきらきら輝いている。シューマン、ロマンチックで強弱のコントラストが素晴らしい。(60代男性)
- ・ピアノが明るすぎる感じがしたが、シューマンにはぴったりだった。(60代男性)
- ・全体的に期待以上の演奏だった。特にシューマンは実力以上の快演かも？(60代男性)
- ・特にシューマンで、感極まった。(80代男性)
- ・表情からも真摯な印象を受けた。(50代女性)
- ・コンマスのフットペダルが熱い!!! (50代)
- ・オケとピアニストの相性を考えると、後半が特に良かった。モーツアルトを聴きに来たのに、シューマンの素晴らしい音色に気付かされた。(20代男性)
- ・兄妹と初共演だと思えないほど、息がピッタリだった。(80代女性)
- ・しっとりとしていた。練習の積み重ねを感じる。(70代女性)
- ・シューマンの強弱が素敵だった。(60代男性)
- ・モーツアルトがあきなさんにはピッタリのイメージだった。(30代女性)
- ・佐世保出身のご兄妹ということは知らなかったが、郷土の誇りとして応援していくべき。(50代男性)
- ・モーツアルトのカデンツァが新鮮で素晴らしい。(60代男性)
- ・タッチがしっかりしていて音が綺麗。(50代男性)
- ・大きいところは体を大きく動かして、小さいときは体を丸めて、という表現がすごかった。(10代女性)
- ・特に乃弘さんとオケとの一体感が素晴らしい。(40代女性)

▶これまでとNOCEのイメージが変わった点

- ・明るいイメージ。とてもきれいな音で、コンサートにまた来たいと思った。(30代女性)
- ・今回初めてだったが、期待以上だった。(60代男性)
- ・バイオリンが多かった。少しずつでもメンバーを増やしてほしい。(70代男性)
- ・テクニックは良いが、団内のバランスを上げてほしい。(70代女性)
- ・幸せな気持ちになった、心にゆとりができた。(50代女性)
- ・楽しかった。リーズナブルで有難かった。(50代女性)
- ・力強い響きもあり、いつも楽しそうだが、今回は特に楽しそうでした。
- ・企画として良かったと思う。これからも長崎出身の方と共に演奏する機会を増やしてほしい。(40代女性)
- ・いつもより軽やかな感じ。(60代女性)
- ・思った以上に上手だった。(40代男性)
- ・これまでも良かったが、更に良くなっていた。(40代女性)
- ・初めて聴いたが、感動した。(60代女性)
- ・これからも聴きに行きたくなった。(20代男性)
- ・いつ聴いても素晴らしい。今日は協奏曲だったので、バックに徹して控えめで、ソリストを気持ちよく演奏できるようにしていた。
- ・独奏者ともよく息が合っている。(80代男性)
- ・チケット2000円は安かった。聴き応えがあった。(70代女性)

▶今後のNOCEに期待すること

- ・佐世保で弦楽四重奏のコンサートを開催して欲しい。(70代男性)
- ・子どもたちが聴きに来てくれて大変嬉しいと思う。(70代男性)
- ・映画音楽などの演奏も聴いてみたい。(50代女性)
- ・一般の人ともコラボしてほしい（単楽章など）。自分もピアノコンチェルトがしたい。(50代女性)
- ・子どもでも知っている曲を入れてほしい。(10代女性)
- ・今後も長崎のために頑張ってほしい。また聴きたい。(50代女性)
- ・改めて、これからも演奏を聴きたいと思った。(70代男性)
- ・また佐世保に、何度も来てほしい。(40代男性)
- ・県内全域に名前が広がり嬉しい。更に県外へと！(70代男性)
- ・未永く、県民・市民にとって身边に音楽が楽しめる企画・演奏を開催して欲しい。(70代女性)
- ・人数を増やしてほしい。(40代男性)
- ・コロナ禍で、改めて音楽の大切さを実感しました。(60代女性)
- ・オーディション等をして、小中高生からソリスト選び、一緒に演奏するチャンスを与えてほしい。(40代女性)
- ・佐世保はコンサートが少ないので、どんどんピアニストを呼んでコンサートをしてほしい。(40代男性)
- ・あまり生演奏を聴く機会がない地域や子ども達にも聴かせて、多くの人に合奏団を知ってほしい。(30代女性)
- ・仕事で都合が悪いので、土曜の夜か日曜にも公演してほしい。(50代女性)
- ・本当に素晴らしい企画力。これからも頑張ってほしい。(20代男性)
- ・これからは年に数回佐世保に来て、素晴らしい演奏を聴かせてほしい。(60代男性)
- ・松浦市の文化会館に演奏しに来てほしい。(10代女性)
- ・どうしたら上手く弾けるのか、TikTok等で配信してほしい。(10代女性)
- ・テノール歌手とコラボしてほしい。長崎でも今回の公演をしてほしい。(70代女性)
- ・今年アルカスで二度楽しむことができた。これからも佐世保に来てほしい。長生きして楽しみたい。(80代女性)

◎ゴスペル・クワイア GLORY、賛美ユニット ルア・ワーシップ共演

来場者（観客）

- #### ▶これまでNOCEはどんなイメージだったか
- ・若々しくて良い。(70代男性)
 - ・地域に密着した演奏活動としている。(70代男性)
 - ・大村に合奏団が出来て、各地で活躍されていてすごい。(60代女性)
 - ・長崎県を代表する合奏団。(60代男性)
 - ・名前を知っているだけでした。(70代女性)
 - ・大村・長崎の宝。(60代男性)
 - ・素敵な合奏団。(60代女性)
 - ・よく演奏会をされているイメージ。(20代女性)
 - ・アンサンブルがしっかりしている。(50代男性)
 - ・小編成のクラシックと思っていました。(60代男性)
 - ・チームワークが出来ていて、個々の技術も素晴らしい。(60代女性)
 - ・県内で頑張っていらっしゃるプロの集団であるというイメージ。(50代女性)
 - ・クラシックを身近に感じ、生の演奏に触れる機会を与えて下さっている。(60代女性)
 - ・色々な場所に出かけて演奏をされる親しみのある合奏団というイメージ(70代女性)
 - ・身近にある親しみやすいオーケストラ。(60代女性)
 - ・演奏が素晴らしいいつも感動しています。プロの方たちなのに、すごく気軽に楽しめる雰囲気を作ってくれて、毎回元気で帰路に着きます。(50代女性)
 - ・県内唯一のプロ合奏団でレベルも高い。(60代男性)
 - ・実力のある合奏団だと聞いております。(80代女性)

▶共演団体とNOCEのコラボコンサートの感想

- ・ダイナミックで楽しく、身近に感じた。(70代女性)
- ・本物の音を身近で聴けて良かった。また聴きたいです。(60代女性)
- ・もう少しクラシックやジャズなども聴けると良いと思いました。(60代男性)
- ・指揮者の村上氏の楽しそうとするさまが、とても印象的で、感動した。(60代女性)
- ・すごく力強い音量で圧倒され、感動しました。明日も元気で生きよう。(70代女性)

▶これまでとNOCEのイメージが変わった点

- ・楽しめる演奏会であった。(70代男性)
- ・クラシックでない曲が迫力もあってとても聴き甲斐がありました。(60代女性)
- ・まろやかな音質になって素晴らしくなってきたと思いました。(70代女性)
- ・気軽で楽しそう。柔らかい音で、教会や狭い室内で聴きたいなと思った。(20代女性)
- ・人間の声が入ることで楽器の良さがより良いものになっている。(60代男性)
- ・生の演奏が聴ける機会が増えそう。(50代男性)
- ・指揮者のダイナミックな動きにより華やかな印象を受けました。(50代女性)
- ・色々な場所に出かけて演奏をされる親しみのある合奏団というイメージ。(70代女性)
- ・身近に感じられた。(60代男性)
- ・長崎県にこのようなプロの合奏団があると知らなかったので驚いた。(80代女性)
- ・選曲が懐かしい曲ばかりで、とても身近な感じがした。(60代女性)
- ・初めてでしたが完成度の高さに驚きました。(50代女性)
- ・ぜひまた聴きに行きたいと思いました。(50代女性)
- ・共演もするんだ!とびっくりしました。良かったです。(40代女性)
- ・2000円でこれだけの演奏を聴かせて頂き、すごいなと思いました。(40代女性)
- ・初めての合奏団のコンサート、感動しました。(70代女性)
- ・改めてレベルの高さを感じられた。(70代女性)
- ・数人での室内楽団と思いきや、オーケストラは初めて聴きました。(70代女性)
- ・チームワークが出来ていてこのレベルも素晴らしい。(60代女性)

▶今後のNOCEに期待すること

- ・多くの場所で、多くの人々に聴いてもらえる機会をお願いします。(70代女性)
- ・年に1回で良いので、南島原市で定期的に開催してほしい。(60代女性)
- ・雲仙市にもぜひ来てほしいです。(70代女性)
- ・1年に1度くらい南島原にも足を運んでください。(60代女性)
- ・演奏活動を続けて、県内各地で演奏していただきたい。(60代男性)
- ・たくさんの方の素晴らしい演奏を皆さんに届けてください。(50代女性)
- ・また南島原に来てください。(60代女性)
- ・長崎や大村などには行けないので、今回のように地方に足を運んでほしい。(80代女性)
- ・今回のようにいろいろなジャンルの音楽を聴かせて頂きたいです。(60代女性)
- ・今後も身近な場所でどんどんコンサートを開いて欲しい。(50代女性)
- ・いろんなコラボが見たい。(50代女性)
- ・全国に名を馳せる室内合奏団になってください!期待しています!(50代女性)
- ・初めて聴きました。もっと機会を作って沢山の人に聴かせてほしいです。(60代男性)
- ・クラシックだけでなくポップスもどんどん演奏して欲しい。(60代男性)
- ・子どもたちが楽器に興味を持てるようなコンサートを期待します。(40代女性)

共演者・関係者

▶これまでNOCEにどんなイメージを持っていたか

- ・合奏団という堅いイメージですが、学校などいろんな所に行かれている地域の人たちと交流しており、少し身近に聴くことができるイメージ。
- ・素晴らしい団体だと思う。
- ・2014年12月7日にコレジヨホールで開かれた演奏会に出演させて頂いた際、バックで演奏なされた洗練された音楽に感動いたしました。一言でいうと“まったく隙のない美しさ”だと思います。年を重ねる毎に、その美しいハーモニーは磨かれているように感じます。
- ・クラシックを演奏する少し堅いイメージの合奏団と思っていた。
- ・県内で唯一のプロの室内合奏団として活躍されている。
- ・失礼ながら、田舎のオーケストラと思っていた部分もありましたが、本当に感動しました。
- ・高校の同級生がメンバーなので応援したい存在。プロであり長崎が誇る合奏団。
- ・以前は市民オーケストラのイメージでしたが、年々音が洗練されて素晴らしいプロの楽団になられたと思います。
- ・本格的な楽団で、遠い存在のように思っていました。
- ・県で唯一のプロ合奏団で一人一人のクオリティーが高い

▶コラボのハーモニー、音色はどうだったか

- ・大迫力の演奏の中ゴスペルを歌えたのはとても貴重な体験でした。またこういう機会があれば是非参加したいです。
- ・一つ一つの楽器がきっちりとその役割をこなし、決して目立たず、全体の調和を保ちながら演奏されているところが素晴らしいと思います。
- ・普段私たちが歌っている歌が、皆さんの素晴らしい音楽に包まれて違うものに感じられる気がしました。歌いながら感動してしまいました。気持ちを一層込められた気がしました。

・NOCEの音を全身で感じながら、心を込めて歌うと感動で涙が溢れました。それを堪えながら歌うのがとても大変でした。そして村上先生のご指導、動き回る指揮について行く楽しさ。どれくらいできたでしょうか?これからも先生の声に耳を傾け歌い続けたいと思います。

・初めてオーケストラの方と共演させて頂き、今までにない感動を覚えました。CDやTVなどで聴く音ではなく生の音の響きや波動が全身に伝わり、一緒に唄うことで音楽の素晴らしさを感じることができました。

・一緒のステージに上がれること自体、驚きと感動です。しかも素晴らしい音色にうつとりして歌うことを忘れそうでした。

・とても奥深く、胸の奥に響くような演奏でした。ご一緒できグローリーの歌声も深く広がり、新しい世界を体感することができました。

・うちのディレクターが作詞作曲した曲を編曲して下さりとても感動しました。また、皆さんの演奏を贅美できることに感謝しております。

・とても素晴らしい音色にうつとりしました。

・想像以上に一つとなれで感激しました。歌を合わせるのに苦労しましたが、リハを重ねる毎にコツを掴めて安心しました。

・ド素人の私達ですが、PAの方や多くのスタッフの方が調整してくださいって、歌っていて雷に打たれたような衝撃の感動が降ってきました。長崎OMURA室内合奏団さんの素敵すぎる演奏をバックに歌うことができて夢のような幸福感に包まれました。

▶これまでとNOCEのイメージが変わった点、(貴団体に)影響を及ぼした点

・村上先生に「神」など伝えたい言葉をしっかりと言うこと、声が低く暗くなっていたことなど、今まであまり意識していなかった所を的確にご指導いただき、今後も今日学んだことを活かしていかたいと思います。

・指揮者の村上さんや村嶋さんに歌、音楽についてご指導いただき「伝える」というものの大切さを学べました。

・プロのオーケストラと初共演ということで、とても気合が入りいつも以上に練習したことで、我々にも強い一体感が生じ声にまとまりが出たと思います。

・まさかプロオーケストラの方々の演奏でゴスペルを歌えるとは思ってもみませんでしたが、ゴスペルの活動をし続けていく限り、いろんな予想もしないことが起きるのだと、メンバーの励みになりました。一緒にコンサートを作ることができます幸せです。

・表現の仕方など全く考えていなかったことを教えて頂きました。長崎OMURA室内合奏団の皆さんがこんなにレベルが高いとは知りませんでした。

・今まで練習はしてきましたが、貴合奏団の方々がこんな田舎へも足を運んでください、共演してくださった事で、とても親しみを覚えました。また、これから練習にも沢山のアドバイスを頂き、勉強になりました。

・ボビュラーな曲も演奏されるんですね。今回沢山の方々に聴いて頂き、ゴスペルを少しでも知つて心に留めて頂けたら幸いです。

・ゴスペルの音楽を演奏していただき、共に音を奏でることができて、より身近に感じることができました。2部の演奏も心中にある懐かしい音楽もあり、皆さんの方から私たちに近づいて音楽を届けて下さったような気がしました。

・とても貴重な体験をありがとうございました。身边にいてくれるようなオーケストラの皆さんとまた共演が出来よう、今後もゴスペル頑張ります。

・今回フルオーケストラとゴスペルという全く違ったジャンルの音楽が果たして調和するのだろうかという不安がありました。村上寿昭さんの熱い指導、村嶋寿深子先生の的確なご助言、スタッフのサポートなどにより、見事に融合することができてGLORYとしても素晴らしい体験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

▶今後のNOCEに期待・希望すること

・100年先でも長く、ずっと活躍して頂きたいです。TVや世界のNOCEとしても見てみたいと思います。

・またこのような機会があれば大変うれしいです。

・こういう機会をもっと増やして、地域の文化意識の底上げをして頂きたいと思います。次は是非、クラシックのナンバーも聴きたいです。

・いろんな方々とのコラボを見てみたいです。これからも沢山の方々に、感動と感激を届けて行ってください。

・いろんな地域で活動を広げて頂き、音楽の素晴らしさを伝えて頂きたい。

・今後も色々な場所で素晴らしいハーモニーを沢山の方々へ届けていかれることを願っています。今回楽器の奏でる生の音に接して多くのことを学びました。是非、大人だけでなく子ども達へも貴合奏団の素晴らしいハーモニーを届けてほしいと思いました。

・いろんなジャンルの曲を聴きたいです。

・長く長崎県の文化活動に貢献していただきたい。

・また、南島原での演奏を希望します。

・ミュージカルやオペラなども是非挑戦してみてほしいです。心から応援しています。



長崎OMURA 室内合奏団

発行 認定特定非営利活動法人 長崎OMURA室内合奏団